



是永 宙 議員

不登校児童生徒へのサポートについて

問

不登校児童生徒の「学びの場の保障」と「卒業後の支援」は

答

全校体制で個に応じた支援を進め、共に考えていく伴走型支援を展開します。

子どもの数が減る中、全国的に不登校児童生徒数は増えている。不登校状態にある子どもの「学びの場の保障」「卒業後の支援」について質問する。

問 「不登校が生じないための魅力ある学校づくり、『心の居場所』としての学校づくり」が求められているが、学校内外での居場所の整備状況はどうか。

答 教育指導部長

学校内では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携し、不登校

対応コーディネーターや学級担任、養護教諭を中心に全校体制で個に応じた支援をしています。また、別室登校をする児童生徒への学習面や生活面での支援充実のため、必要に応じて教育支援員を配置しています。学校外では、通所支援ができる教育支援センター「スマイル」があり、教育相談・課題対応室においては継続的なカウンセリングを通じた支援をしています。

問 校内外の居場所づくりとして、学生や教員OBや地域の協力を得てはどうか。

答 教育指導部長

今後、支援策のひとつとして研究します。

問 進路先において適切な支援を受けるための中学校卒業時の引継ぎはどうか。

答 教育指導部長

中高連絡会において、支援状況や入学後の適切な対応などについて情報交換をしています。また、中学校の教員や市内相談機関の職員が同席をし

て、面談の機会を設ける場合もあります。

問 義務教育終了後の不登校支援はどうか。

答 子ども未来部長

義務教育終了後の支援は、「あすくる高島」を窓口として、市教育委員会や市内各中学校および高等学校と連携した支援の充実に努めています。教育と福祉が連携・協力し、子ども若者が悩んでいる様々な困難や生きづらさに寄り添いながら、共に考えていく伴走型支援を展開していきます。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策による音楽団体に対する公民館の利用規制について
- 江若鉄道・今津駅舎について